

愛知まちづくり建築賞の受賞作品一覧



第1回(平成5年)

第1回愛知まちづくり建築賞

- 足助町福祉センター百年草 東加茂郡足助町
- OZモール 名古屋市北区
- 倉沢邸 名古屋市緑区
- 米久菜 豊橋市下地町
- 瀧定本社ビル 名古屋市中区錦
- トヨタ博物館 愛知郡長久手町
- 豊橋市二川宿本陣資料館 豊橋市二川町

第2回(平成6年)

- 愛知芸術文化センター/愛知県図書館 名古屋市中区
- 愛知県陶磁資料館 瀬戸市南山口町
- アポロドーム名古屋S.S 名古屋市東区
- 間屋記念館 西春日井郡西枇杷島町
- 新美南吉記念館 半田市岩滑西町
- へきなん芸術文化村 碧南市鶴見町

第3回(平成7年)

第3回愛知まちづくり建築賞

- 産業技術記念館 名古屋市区
- コーポラティブ・ハウス木附の里 春日井市木附町
- 知多印刷工場 知多市栄町
- 常滑市体育館 常滑市下砂原
- 扶桑文化会館 丹羽郡扶桑町
- 2つの空(グラビア・佐川邸) 西加茂郡小原村
- 夜明屋 犬山市大字大山

第4回(平成8年)

- 岡崎市美術館 岡崎市高隆寺町
- 茨須記念美術館アトリエ復元 稲沢市稲沢町
- 加藤重孝邸 名古屋市中川区
- サン・ドーム サン・ワークショップ 豊田市保見町
- 高浜市やきもの里かわら美術館 高浜市青木町
- 西尾市歴史公園 西尾市錦城町
- マンリン書店「蔵の中のギャラリー」 東加茂郡足助町

第5回(平成9年)

第5回愛知まちづくり建築賞

- 旭町立旭中学校 東加茂郡旭町
- 文山苑(詩泉閣) 安城市和泉町
- 世界のタイル博物館 常滑市奥栄町
- トクハイム八事 名古屋瑞穂区弥富町
- 豊田市美術館 豊田市小坂本町
- 名古屋能楽堂 名古屋市中区
- ナディアパーク 名古屋市中区栄

第6回(平成10年)

- あいち健康の森健康科学総合センター 知多郡東浦町
- 大府西バレット幼稚園 大府市長草町
- サッポロビール名古屋ビール園 浩養園 名古屋千種区
- 豊明市消防庁舎 豊明市岩掛町
- 豊田自動織機組合会館est 刈谷市宝町
- 尾西市三岸節子記念美術館 尾西市小信中島

第7回(平成11年)

- 愛知県立大学 愛知郡長久手町
- NS21 刈谷市野田町
- 蒲郡情報ネットワークセンター・生命の海科学館 蒲郡市港町
- 清洲町上本町集会所 西春日井郡清洲町
- 知多市歴史民俗博物館 知多市緑町
- 名古屋大林ビル 名古屋市中区
- 夢広場はるひ (はるひ保健福祉センター・はるひ夢の森公園) 西春日井郡春日町

第8回(平成12年)

- 宇野邸 名古屋守山区
- 小弓の庄[旧加茂郡銀行羽黒支店復元施設] 犬山市大字羽黒
- JRセントラルタワーズ 名古屋市中村区
- JAF中部本部・愛知支部事務所 名古屋市中区
- 瀬戸市マルチメディア伝承工芸館 瀬戸市西郷町
- 瀬戸市立品野野小学校 瀬戸市上品野町
- 長久手町文化の家 愛知郡長久手町

第9回(平成13年)

第9回愛知まちづくり建築賞

- オンワード樺山名古屋支店ビル 名古屋市中村区
- あうら 西春日井郡西春日町
- 一楽軒 名古屋市中区
- 楽田ふれあいセンター「しろやま」 犬山市宇外屋敷
- せんねん村 西尾市平口町
- 豊橋市公会堂 豊橋市八町通
- 鈴浜南山美術館 名古屋市中区

第10回(平成14年)

- 愛知工業大学名電高等学校北校舎 名古屋千種区
- 高嶺下住宅 東加茂郡足助町
- stadium600 名古屋千種区
- 豊田自動織機情報技術研究所 刈谷市城町
- 長屋門の家 東海市名和町
- 羽ね屋敷 名古屋市中区
- メナード本社ビル 名古屋市中区

第11回(平成15年)

第11回愛知まちづくり建築賞

- 名古屋クロインスクエア 名古屋市中区
- オアシス21 名古屋市中区
- カゴメ錦ビル/ルイ・ヴィトン名古屋栄店 名古屋市中区
- 東邦ガス知多緑浜工場管理センター 知多市緑浜町
- 長浦の家 知多市長浦一丁目
- 西尾市岩瀬文庫 西尾市亀沢町
- 星が丘テラス 名古屋千種区

第12回(平成16年)

- 愛知淑徳大学星が丘キャンパス1号館 名古屋千種区
- 尾張旭市営愛宕住宅 尾張旭市新居町
- 刈谷総合病院 診療棟 刈谷市住吉町
- 豊田自動織機 大府801工場 大府市江端町
- 名古屋大学IB電子情報館・地下鉄名古屋大学駅 名古屋千種区
- 名古屋大学野依記念物質科学研究館・学術交流館 名古屋千種区
- 藤森の家 名古屋市中区

第13回(平成17年)

- 愛知淑徳大学9号棟(語学教育センター) 愛知郡長久手町
- 旧加藤商会ビル 名古屋市中区
- 栄三丁目ビルディング・LACHIC 名古屋市中区
- 中部国際空港 旅客ターミナルビル 常滑市セントレア
- 徳川園 名古屋市中区
- ノリタケの森 名古屋市中区
- 三好町の家 西加茂郡三好町

第14回(平成18年)

- あいち海上の森センター 瀬戸市吉野町
- アーバンネット名古屋ビル 名古屋市中区
- 金城学院大学W9・10号館 名古屋守山区
- グランドメゾン東明町 名古屋千種区
- 小石川医院 豊田市足助町
- 柘榴の家 名古屋千種区
- 名古屋テレビ塔 名古屋市中区

第15回(平成19年)

第15回愛知まちづくり建築賞

- 名古屋ルーセントタワー及びそのアートワーク 名古屋西区
- 泉町の家 豊田市
- INAXライブミュージアム土・どろんこ館 常滑市奥栄町
- 暮らしの学校 岡崎市羽根町
- 提灯&カフェ 犬山おどき 犬山市名栗町
- ナゴヤセントラルガーデン 名古屋千種区
- MARUWA瀬戸寮 瀬戸市一里塚町

主催・愛知県
後援・愛知県市長会
愛知県町村会
愛知県商工会議所連合会
愛知県都市計画協会
中部経済同友会

協賛・(社)愛知建築士会
(社)愛知県建築設計事務所協会
(社)日本建築家協会東海支部
(社)愛知県建設業協会
愛知県建築技術研究会
(財)愛知県建築住宅センター
(財)東海建築文化センター
中部デザイン協会

第15回 愛知まちづくり 建築賞

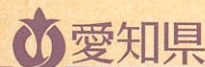
表彰作品集 2007



建設部公園緑地課

2008.1

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2
TEL: 052-954-6526 (直) FAX 052-953-5329
URL- <http://www.pref.aichi.jp/koen/>



第15回 愛知まちなみ建築賞



愛知県知事
神田 真秋

愛知まちなみ建築賞について

愛知県は魅力的な地域づくりのためには、良好な景観形成が必要と考え、自然、歴史、生活、産業などの景観特性を生かし、未来につなぐ緑豊かな「美しい愛知づくり」を推進しています。

本「愛知まちなみ建築賞」は、良好なまちなみ景観の形成や、潤いのあるまちづくりに寄与するなど、良好な地域環境の形成に貢献していると認められる建築物、またはまちなみを表彰することにより、これらのまちづくりに果たす意義を見出し、もって魅力と潤いのある地域の形成に資することを目的としています。

今回は106件の応募があり、その中で受賞された7作品は、最近の元気な愛知を象徴して、特に優れていると評価されたルーセントタワー及びそのアートワークを始め、都心部の住宅開発、地域に密着した産業博物館から緑豊かな郊外の住宅までバラエティに富み、いずれも新しい建築文化の創造や、地域のまちなみに調和し、魅力的な景観の形成及び魅力と潤いのある空間の創造に寄与しているものとして、高く評価されたものばかりです。

平成5年に創設されたこの賞は、今回で第15回を迎えることができました。これもひとえに県民の皆様をはじめ、後援または協賛いただいた団体の方々のご理解とご支援のたまものと感謝いたしております。

今後とも、こうしたまちづくりに貢献する建築物やまちなみが数多く創出されることを期待するとともに、県民の皆様と連携して、魅力あるまちなみの形成、美しい愛知づくりに取り組んでまいりますので、皆様方のご理解とご支援をお願いします。



愛知淑徳大学教授
日色 真帆

愛知まちなみ建築賞総評

大規模な建築が次々とつくられても、まちなみに新しさやふさわしさを適切に生み出している例は多くないのだが、「名古屋ルーセントタワー及びそのアートワーク」は、緩やかな曲面の形状や、足元回りのアートや植栽などが洗練されていて、働く場としての快適さが適切につくりだされている。このような点を高く評価して、今回、審査委員会では大賞とすることで一致した。

大賞作品が示しているように、まちなみに対して建築やランドスケープのあり方はさまざま、こうすればよいという決まりがあるわけではない。重要なのは適切さで、新たな建築をつくるという貴重な一回限りの状況で、関係者がどれだけ真剣に適切さを追及したかが表れるものなのだろう。

「泉町の家」は、のどかな環境に対して、実に開放的な構えの、軽快な住まいである。閉鎖的になりがちな現代ではうらやましいほどで、設計者が施主と話し合う中から適切な解答を引き出しているのがわかる。

「INAXライブミュージアム 土・どろんこ館」は、常滑旧市街に程近い、陶器に関連したミュージアム群に新たに加わった施設である。版築の擁壁や壁面は印象的で、「土」というテーマが全体に一貫している。

「暮らしの学校」は、岡崎駅近くに古くからある工場敷地につくられたカルチャースクールである。既存の建物を活かした建築群、地元木材の利用などさまざまな点に、まちに貢献していこうという意欲がよく伝わってくる。

「提灯&カフェ 犬山おどき」は、控えめでありながら個性を感じさせるデザインの改修で、犬山のまちなみに魅力を加えている。格子のスタンドグラス、サインとなる照明、新たに植えた柳の木など、よく考えられた上品さが感じられる。

「ナゴヤ セントラルガーデン」は、今まで印象が薄かったエリアに、新たに展開している大規模な住宅地開発である。ゆったりした歩道空間があり、住戸駐車場の地下化によって多くの植栽がとられていて、街が成熟することが楽しみなものとなっている。

「MARUWA瀬戸寮」は、ともすれば迷惑な建築となりかねない独身寮を、会社のイメージをアピールするものと位置づけて、造形された外部空間と照明の演出で、まちなみに積極的に参加している。

応募作品には、古い街並みでもなく自然豊かでもない場所につくられた建築も多い。手掛りの少ないそのような場合は、何が適切なあり方か難しくなるのは当然である。しかし、凡庸に見えるまちなみに対して、何とかして取り組んでいる仕事にもエールを送りたいと考えている。

第15回 愛知まちなみ建築賞



選考基準

良好なまちづくりを進めていくためには、建築物が地域環境の形成に積極的に関わり、一定の社会的役割を果たしていくことが重要であることを認識のもと、募集条件に適合しているもののうち、良好なまちなみ景観の形成や、潤いのあるまちづくりに寄与するなど、良好な地域環境の形成に貢献していると認められる建築物、又はまちなみで、次の基準のいずれかに適合し、かつ社会的貢献度の高いものを選考する。

1 地域における新しい建築文化の創造に寄与しているもの。

(以下例示)

- 新しい地域景観の形成を先導し、モデルとなるもの。
- デザインに優れ、地域環境の形成又は新しい地域環境の創造に寄与しているもの。
- 周囲への配慮がなされ、地域の魅力を高めているもの。

2 地域のまちなみに調和し、魅力的な景観の形成に寄与しているもの。

(以下例示)

- 地域の風土を生かし、新しい地域文化を創造しているもの。
- まちなみに調和し、地域の特色ある景観を創造しているもの。
- 建築協定等の住民の主体的な活動や総合的な計画等により、まちなみ景観が形成されているもの。

3 魅力と潤いのある空間の創造に寄与しているもの。

(以下例示)

- 緑化、せせらぎ等の、地域に魅力と潤いを与える空間を創出しているもの。
- 通抜け空間や開放ギャラリー等の、地域コミュニティの形成に寄与しているもの。
- 地区計画等の詳細な整備計画や住民活動等により、良好な地域整備が図られているもの。

4 その他、本賞の趣旨に適合し、地域に貢献しているもの。

賞

愛知まちなみ建築賞 数点

そのうち、特に優れていると認められた場合は大賞とする。

選考経過

推薦・応募対象 (愛知県内の平成14年4月1日から平成19年8月24日までに建築または改修された建築物やまちなみ)

推薦・応募期間 (平成19年7月5日から8月24日まで)

第1回選考委員会 (平成19年9月14日)

第2回選考委員会 (平成19年11月21日)

表彰式 (平成20年1月25日)

入賞作品

愛知まちなみ建築賞大賞

名古屋ルーセントタワー及びそのアートワーク 名古屋市

愛知まちなみ建築賞

泉町の家 豊田市

INAXライブミュージアム 土・どろんこ館 常滑市

暮らしの学校 岡崎市

提灯&カフェ 犬山おどき 犬山市

ナゴヤ セントラルガーデン 名古屋市

MARUWA瀬戸寮 瀬戸市

選考委員

選考委員 (50音順/敬称略/◎印は選考委員長)

- 有賀 隆 (早稲田大学理工学術院教授)
- 五十嵐 太郎 (東北大学准教授)
- 市川 三干男 (愛知建築士会会長)
- 岡田 憲久 (名古屋造形芸術大学教授)
- 岡田 利一 (愛知県建築設計事務所協会会長)
- 都築 敏 (特定非営利活動法人ビジュアルコンテンツプロダクトネットワーク理事長)
- 長瀬 幸男 (愛知県建設部建築担当局長)
- 服部 滋 (日本建築家協会東海支部愛知地域会会長)
- ◎日色 真帆 (愛知淑徳大学教授)
- 伏見 清香 (広島国際学院大学准教授)
- 山内 彩子 (東風意匠計画代表)



撮影 エスエス名古屋



撮影 エスエス名古屋



撮影 谷裕文



撮影 エスエス名古屋

愛知まちなみ建築賞大賞

1. 名古屋ルーセントタワー及びそのアートワーク

名古屋市西区牛島町6番1号

講評

再開発事業を伴う超高層の建築は、事業規模の大きさから評価方法には多様な視点が必要だ。事業コンセプト、環境やまちなみへの直接、間接的な影響から、そのフォルムやパブリックスペースのありよう等、すべてに総合的な目が向けられることになる。

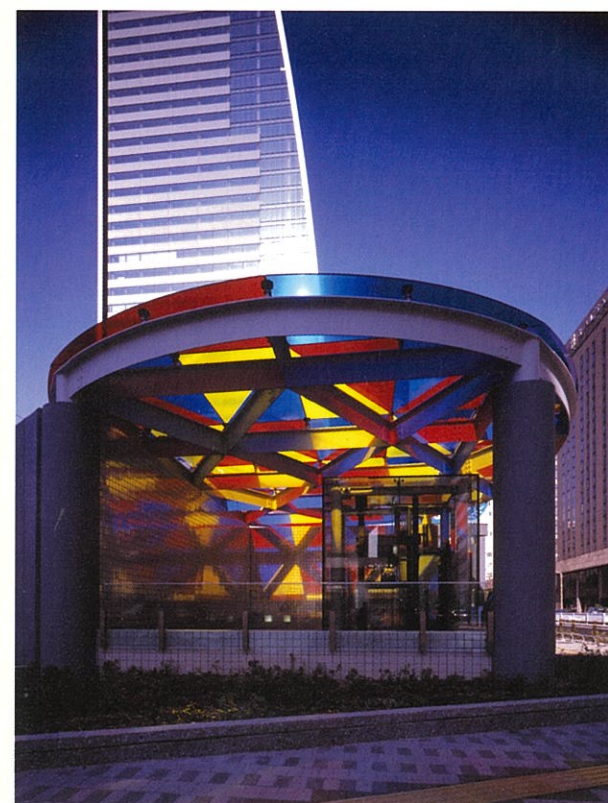
名古屋ルーセントタワーは、名古屋駅前の北地区に、都市再生を先導する事業として建設された施設である。中高層階はオフィス、地下一低層階が店舗、40階に展望レストランがあり、地下には次世代の電力需要に対応する超高圧変電所が設けられた。

建物へのアクセスは、地上、地下道の2種類で、名古屋駅から建物に至る地下道やパブリックスペースに、7つの新鋭のアートワークが企画され、インテリアやランドスケープに活力を与えている。地下の長い通路を退屈させないアート空間、外観の曲線のフォルム、ランドスケープデザインすべてが、地上や空からのわかりやすいシンボル空間を成している。

本件は超高層が増えつつある名古屋駅前にあって、「次世代のビジネス拠点」というテーマに見合った環境空間の実現手法として、建物・ランドスケープとアートワークを融合させ、名古屋の新しいまちなみの創出に寄与する存在となった。こうした総合的な試みがまちなみ建築賞大賞に値するという評価となった。

山内 彩子

建築主 牛島市街地再開発組合
 設計者 株式会社 日建設
 有限会社 TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE
 施工者 大成建設株式会社 名古屋支店



撮影 谷裕文

概要: 主要用途 事務所、店舗、変電所
 構造 鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造
 階数 地下3階、地上42階、塔屋1階
 敷地面積 14,100.54㎡
 建築面積 7,504.46㎡
 延床面積 131,355.96㎡

練り込み技法による記念銘板



作/陶芸家 水野教雄



撮影 加斗タカオ

2. 泉町の家

豊田市

講評

豊田市郊外に建つこの住宅は、軒を低く抑えた切妻屋根や木を活かした外観が緑豊かな自然の風景の中に見事に溶け込み、縦格子を使った玄関ポーチが落ち着いた存在感を持たせている。周囲には塀や生け垣を設けず既存の低い石垣をそのまま活かすとともに、建具を全て開放することで室内と外部とのつながりを持たせ、都心では実現できないほどの開放的な空間を創り出している。また、大きな軒下いっぱいの濡れ縁を造り、近所の人たちとの昔ながらのコミュニケーションの場を形成している。地域の景観に調和し、魅力と潤いのある空間を創り出しており、まちなみ建築賞にふさわしい住宅である。

長瀬 幸男

建築主 加藤博美 由美子
 設計者 鈴木光雄建築工房
 施工者 吉富工務店有限会社



撮影 鈴木光雄建築工房



撮影 加斗タカオ

概要:主要用途 専用住宅
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 329.38㎡
 建築面積 124.43㎡
 延床面積 106.00㎡

3. INAXライブミュージアム 土・どろんこ館

常滑市奥栄町1丁目130

講評

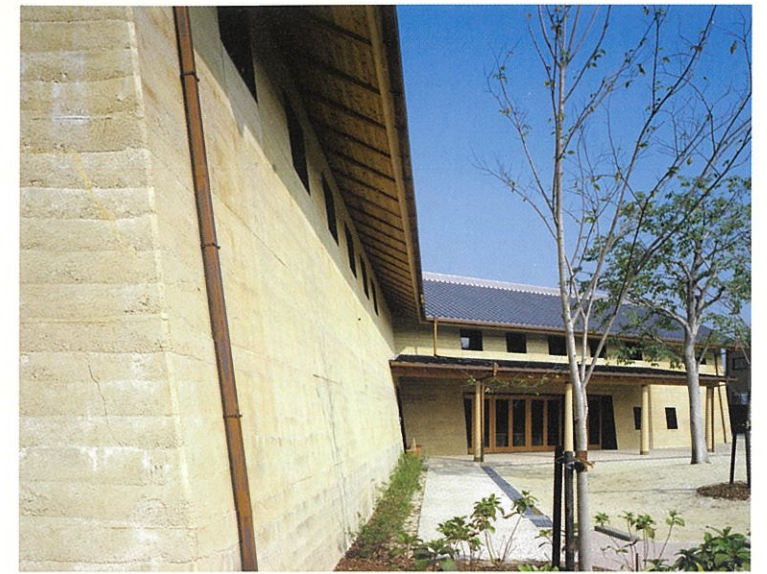
「土・どろんこ館」は、ともに新設された「ものづくり工房」や既設の「窯のある広場・資料館」「世界のタイル博物館」「陶楽工房」とともにINAXライブミュージアムを構成している。

元々、常滑特有の狭く見通しの悪い路地や坂道と、木造の工場で構成されていた場所を、数年にわたって分棟式の建物と広場、駐車場の分散配置で構成し直したものである。企業博物館というと、塀やフェンスに囲われた大きな建物と大駐車場で作りがちであるが、INAXライブミュージアムは、街並みにとけ込むスケールを持ち、閉館時間にも建物内以外は自由に出入りできるように街にひらかれている。

「土・どろんこ館」は、アプローチの駐車場に面し、外壁および擁壁を版築で作ったり、緑で修景することによって、やきものやそれを生み出す土をテーマに、独特の温かみのある風景を作り出している。この賞の選考基準の「地域における新しい建築文化の創造」「街並みに調和し、魅力的な景観の形成」「魅力と潤いのある空間の創造」のどれをとっても、賞に値するものと考えられる。

服部 滋

建築主 株式会社 INAX
 設計者 南の島工房 一級建築士事務所
 施工者 株式会社 東海エコン



写真提供 株式会社INAX

概要:主要用途 博物館
 構造 RC造ラーメン構造一部木造
 階数 地上2階
 敷地面積 1,891.91㎡
 建築面積 467.99㎡
 延床面積 587.70㎡



写真提供 株式会社INAX



写真提供 株式会社INAX



撮影 株式会社 コンフォートメディア 小原 淳

4. 暮らしの学校

岡崎市羽根町若宮30番地

講評

文明は発達し、我々は物質的には豊かになった。しかし、精神的な豊かさを果たして得たといえるのだろうか。この疑問は戦後の貧しさの中から始まり高度成長期を経た年代にとって、常に頭の中になぞくものではないだろうか。

そのような疑問の中から人間回帰・自然回帰(ルネッサンス)を図るコミュニティの場としてこの建物は作られた。構想は10年に達し、道路拡張による旧居宅の一部移転を契機として、厨房設備メーカーである服部工業の過去4代にわたる社長宅を改造し、白壁の蔵を移設し、植栽をそのままとし、この場にカルチャーセンターが開校した。

低層階の建物群の内外装には地元産の三河杉を用い、周辺の建設中のマンションと非対称の景観を作り出している。今後は同一敷地内での拡張を予定する。

魅力と潤いのある空間の創造に寄与するものとして、そしてルネッサンスを発信するコミュニティの場として、更なる発展を願うものである。

都築 敏

建築主 財団法人 服部公益財団
 設計者 株式会社 コンフォートメディア
 小原木材一級建築士事務所
 施工者 小原木材株式会社

概要:主要用途 カルチャースクール
 構造 改修部分:木造(一部鉄骨)
 新築部分:RC造
 階数 改修部分:地上2階
 新築部分:地上2階
 敷地面積 約28,000㎡
 建築面積 改修部分:311.96㎡
 新築部分:273.45㎡
 延床面積 改修部分:380.97㎡
 新築部分:408.82㎡



撮影 株式会社 コンフォートメディア 小原 淳



撮影 株式会社 コンフォートメディア 小原 淳



撮影 滝田 良彦



撮影 滝田 良彦

5. 提灯&カフェ 犬山おどき

犬山市名栗町19

講評

犬山城の旧城下町にあるこの店舗は、犬山提灯など「あかり」の工房を見ながら、カフェを楽しむ空間として、築100余年の建築を可能な限り残しながら、木造建築を改修している。

通りから見ると、屋根の水平線とステンドグラスの立った引き違い戸や柱の垂直線で構成された直線的なイメージの中に、白い暖簾や新たに植えられた柳が、そよ風になびいて柔らかく清々しい雰囲気演出している。また、色ガラスや赤い毛氈がアクセントカラーとなり、入り口に締めを与えている。

これらのことから、地域のまちなみに調和し、魅力的な景観の形成に寄与しているものとして、この建築は評価できると考えられる。

生活の中にとけ込み生きている建築は、そこに関わる人々によって時間とともにその表情を変化させていくが、店舗のスタッフだけでなく、ここを訪れる観光客も含めた人々により、この建築の表情やまちなみがさらにより方向に変化することを期待したい。

伏見 清香

建築主 青井 琳
 設計者 日比野万喜男建築設計事務所
 施工者 株式会社 成正建装

概要:主要用途 店舗
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 200.00㎡
 建築面積 96.84㎡
 延床面積 96.84㎡



撮影 滝田 良彦



写真提供 株式会社三菱地所設計

6. ナゴヤ セントラルガーデン

名古屋市千種区高見2丁目801番1, 201番2

講評

既存の市街地において新たな街並形成や景観整備を行う際に求められる重要な計画視点の一つは、街路や街区といった公共的な基盤施設と、その上に生み出される個々の建築空間やランドスケープとを効果的に連携させ、一体的な市街地像として創造するアーバンスケールのデザインを実現する事である。

「ナゴヤ セントラルガーデン」は、そうした視点から、企業の社宅跡地と敷地内及び周辺の市道とを一体的に整備、再生する「地区計画」として位置づけ、そこに新しい都心居住の像を生み出す集合住宅群と生活関連商業施設、そして地区施設としての公園、広場、緑地、緑道、歩行者専用道路などを総合的に計画、実現したまちづくりプロジェクトである。

この計画では「一団地認定」を受ける事で複数の高層住棟を比較的自由に配置する事ができ、計画地中央を南北に貫くシンボルロードの沿道性に配慮した建物配置に成功している。他方、沿道の公開空地と集合住宅敷地との境界線や、広場の外周に設置された縦状のフェンスは歩行者の目線をはるかに越える高さまで設置されており、この事が新たに生み出された開放的な街並を空間的にも心理的にも阻害する一因となっている。

優れた街並や都市景観が公共空間V.S.民間敷地という構図を越えて、人々の生活行為や都市活動が連続して映し出される場であることを考えると、今後の敷地境界の管理方法も含めた沿道景観のさらなる熟成に期待したい。

有賀 隆

建築主 ジェイアール東海不動産株式会社
三菱地所株式会社 名古屋支店
三菱商事株式会社

設計者 三菱地所設計・大成建設設計共同企業体

施工者 大成建設株式会社名古屋支店



写真提供 株式会社三菱地所設計



写真提供 株式会社三菱地所設計

概要:主要用途	共同住宅・店舗・駐車場他
構造	共同住宅:鉄筋コンクリート造(免震構造) 店舗:鉄骨造
階数	共同住宅:A・B棟 地上13階・地下2階 C棟 地上13階・地下1階 店舗:地上1階又は2階
敷地面積	共同住宅:A・B棟7,470.53㎡ C棟 3,676.90㎡ 店舗:13,196.60㎡(5棟合計)
建築面積	共同住宅:A・B棟2,811.78㎡ C棟 1,516.46㎡ 店舗:2,131.50㎡(5棟合計)
延床面積	共同住宅:A・B棟23,172.78㎡ C棟11,247.24㎡ 店舗:2,727.20㎡(5棟合計)



撮影 加藤敏明

7. MARUWA瀬戸寮

瀬戸市一里塚町29

講評

瀬戸市役所より車で東へ約4kmくらい走ったところで、33号線一里塚バス停の北の位置に洗練されたデザインのMARUWA瀬戸寮がある。シンプルですっきりしているのに不思議な存在感を持った建物である。駐車場に車を止めると、おもちゃ箱の中を覗いてみたいような衝動に駆られ思わず住居の中に足が進む。設計、監理、施行共に細部にまで気遣った作品であると同時におおらかな施主の思いがよく現れていると感じられた。入居者に住み心地を一言聞いてみたいものだと思いながら拝見した。照明のショールームを兼ねた单身寮であることが特に印象的で、照明効果、配色の楽しさ、植栽や外構等の陰影効果も充分配慮されており、この地域のランドマーク的な役割を果たしていると思う。

デザイン、構造については写真を見れば一目瞭然であるが、平屋建てで上下2本の美しい水平ラインが緊張感を与える。前面道路から眺めれば西から東へとその表情が変化し、北側へ回ると幾何学的なデザインの各戸の玄関へと誘われる。

数年後、アベリアの樹がしっかりと根付いて枝葉がいっぱいに繁った頃、もう一度来たいと思った。

市川 三千男

建築主 株式会社 MARUWA

設計者 株式会社 竹中工務店名古屋一級建築士事務所

施工者 株式会社 竹中工務店名古屋支店



撮影 加藤敏明



撮影 加藤敏明

概要:主要用途	单身寮
構造	RC造
階数	地上1階
敷地面積	2,304.54㎡
建築面積	366.18㎡
延床面積	327.13㎡